

# ツチトリモチ

*Balanophora japonica*

ツチトリモチ科

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 掲載なし

種  
子  
植  
物



低地や丘陵地のアカマツ林やコジイ林に生える高さ5～12cmの寄生植物。林内のクロキやハイノキなどの根に寄生する。花期は10～11月，根茎から鱗片葉<sup>りんぺん</sup>を互生した花茎を出し，その上辺に卵状だ円形の橙赤色の花穂をつける。和名ツチトリモチは根茎をすりつぶして鳥もちを作ることによる。県内では東部・南部地域に偏在し，個体数も少ない。森林伐採や林道開設などによる生育環境の改変で，絶滅の危険性が高い。

(写真・文：瀬戸屋耕二)

**県内分布** 豊後水道後背地域，大野川上流域，北川上流域

**分布域** 本州，四国，九州（長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島）

**国定公園指定植物** [日豊海岸，祖母傾]